

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
102-77	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104・数研	言文・707	言語文化		

1. 編修の基本方針

- 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識・技能を培い、確かな国語力を育成する。
- 我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、文化の担い手としての自覚を養う。
- 自分の体験や思いを他者に伝えるための、確かな文章の創作力を育成する。
- 作品や文章に表現されたものを読み取る、確かな読解力を育成する。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編		
説話	古くから語り継がれてきた説話文学に触れることを通して、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する精神を養えるようにした。(第5号)	p. 32～p. 43
随筆(一)	古人の豊かな情操に触れることで、真理を求める態度と豊かな情操を培うことができるようにした。また、隠棲者の文学を扱うことにより、自己と社会との関わり方について考察を深められるようにした。(第1号・第3号)	p. 44～p. 57
歌物語	和歌を通して表現されている心情の読解を通して、豊かな情操をはぐくめるようにした。(第1号)	p. 58～p. 75
物語	我が国最古の作り物語である『竹取物語』の読解を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養い、登場人物の細やかな心理描写を読み取ることによって、豊かな情操をはぐくめるようにした。(第1号・第5号)	p. 76～p. 83
随筆(二)	古人の豊かな情操に触れることで、真理を求める態度と豊かな情操を培うことができるようにした。また、我が国の自然風土を観察した中古の随筆に触れることで、自然を大切にすることをはぐくむとともに、我が国と郷土を愛する心を養えるようにした。(第1号・第4号・第5号)	p. 84～p. 93
和歌	和歌に表現された自然描写を通じて、古来日本で尊ばれてきた自然の美に触れられるようにした。(第4号・第5号)	p. 94～p. 105

日記文学	我が国の仮名日記文学の先駆である『土佐日記』の読解を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)	p. 106～p. 111
軍記物語	中世の戦乱期における人間像を描いた軍記物語の読解を通して、生命を尊ぶ心と伝統と文化を尊重する態度をはぐくめるようにした。(第4号・第5号)	p. 112～p. 121
俳諧紀行	自然の景観や人間の営みを描いた近世の俳諧紀行文の読解を通して、自然や伝統・文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養えるようにした。(第4号・第5号)	p. 122～p. 127
【発展】注釈	時代ごとに作られた「注釈書」に触れることを通して、先人がどのようにして古典文学を尊重し、それを後世に受け継いできたかを理解できるようにした。(第5号)	p. 128～p. 132
漢文編		
入門	漢文を読むための基礎的知識の習得を通して、漢文が我が国の言語文化に与えた影響を知ることができるようにした。(第5号)	p. 136～p. 145
故事	故事成語として伝わる漢文の逸話を取り上げることにより、中国の故事と我が国の伝統的な言語文化との関連について理解を深められるようにした。(第5号)	p. 146～p. 157
史伝	古代の中国において個人の価値を発揮した人々の伝記を取り上げることにより、個人の能力や創造性を尊重する価値観の普遍性について考察できるようにした。(第2号)	p. 158～p. 167
漢詩	「中国の詩」と「日本の詩」を取り上げることにより、日本文学と中国文学の関係性について理解を深められるようにした。(第5号)	p. 168～p. 181
思想	古代中国の思想に触れることで、幅広い知識と豊かな情操を養うとともに、自己と社会との関わり方についての考察を深められるようにした。(第1号・第3号)	p. 182～p. 193
文章	我が国でも古くから名文の手本として読み継がれてきた漢文作品を取り上げることにより、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。(第5号)	p. 194～p. 200
近現代編		
近代小説(一)	主人公の心情や人物像を深く読み取ることで、真理を求める態度と豊かな情操・道徳心をはぐくめるよう配慮するとともに、当該作品の典拠となった古文作品との比較読解を通して、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。(第1号・第5号)	p. 204～p. 225

現代小説	他国の人との意思疎通をテーマとした現代小説の読解を通して、他国を尊重する心を培うとともに、他国と自国の言葉の関連についての考察が深められるようにした。（第5号）	p. 226～p. 239
詩歌	近代以降のさまざまな詩歌に触れることで、伝統的な我が国の言語文化の理解が深まるよう配慮するとともに、生命や自然、自他の敬愛などを詠った詩歌の読解を通して、生命・自然を尊ぶ心、公共の精神をはぐくむ心が養えるようにした。また、短歌・俳句の創作を通じて、創造性を培うことができるようにした。（第2号・第3号・第4号・第5号）	p. 240～p. 255
近代小説(二)	死に直面する経験をした主人公が、生と死について思いをめぐらす小説の読解を通して、生命の尊さについての理解が深められるようにした。（第4号）	p. 256～p. 271
戦争小説	太平洋戦争における沖縄戦を描いた小説の読解を通して、戦争の悲惨さを理解し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるようにした。（第5号）	p. 272～p. 291
【発展】近代小説(三)	主人公の心情や人物像を深く読み取ることで、真理を求める態度と豊かな情操・道徳心をはぐくめるよう配慮するとともに、当該作品の典拠となった漢文作品との比較読解を通して、伝統的な言語文化を尊重する態度を養えるようにした。（第1号・第5号）	p. 292～p. 310

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第51条2号「一般的な教養を高め、専門的な知識、技術及び技能を習得させること」を踏まえ、知っておきたい国語的教養に関する「解説」（コラム）を随所に掲載した。
- 学校教育法第51条第3号「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと」を踏まえ、各教材末の設問では、我が国の言語文化を多角的な視点から考察できる設問を多数用意した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 担当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
102-77	高等学校	国語	言語文化	
※発行者の番号・略称	※教科書の記号・番号	※教科書名		
104・数研	言文・707	言語文化		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 全体

- ① 我が国の言語文化の変遷を解説した「言語文化と古文」「言語文化と漢文」「言語文化と近現代」コーナーを各編の冒頭に収録した。
- ② 教材の読解から発展させて、我が国の言語文化についての知識や理解を深めることができる「ズームアップ」コーナーを設けた。

ズームアップ

漢文由来の名付け

1 日本の元号

現在の日本では、年を数える方法として、西暦と和暦が広く用いられている。和暦に用いられる元号は、もともと前漢時代の中国で始まった制度だが、中国の制度を参考にした東アジアの国々でも採用されることがあった。日本では六四五年に最初の元号として「大化」を定めて以来、現在に至るまで元号制度を用いている。

日本で元号を名付けるときは、漢文を典拠とすることが多い。今の元号である「令和」は、『万葉集』(『高麗』)の中から、漢文体で書かれた部分を典拠としている。

初春令月、気淑く風和らぐ。
(巻第五)

初春の令月、気淑く風和らぐ。
(時節は) 初春のよい月で、空気が澄んでいて風は柔らかい。

「梅花の歌三十二首」の序文より、序文の作者は大伴旅人(公室)とあるいは山上憶良(皇貴)といわれる。

ズームアップ

「ことば」は生き物!?

1 言葉の性質

今や海外でも大人気の日本の漫画は、「manga」と表記される。

私たちは一般に、外国からやってきた言葉は自国の言葉で置き換えられる(犬→「dog」、山→「mountain」など)と考えがちだ。しかし、すべてがそうだとはいえない。上の表を見てもよく、「言葉」は文化の表現形態、文化を映し出すものである。異なる文化が衝突し合うとき、その言葉自体の指すものがすでに自国のうちに存在するならば、言葉は自国のものに置き換えられるだろう。しかし、そうでなければ、そのまま外来語を用いることがあるのだ。さらに、「台風」(typhoon)や「珈琲」(coffee)などのように、外来語に漢字を当てて日本語として成立したのもあれば、もつと

外国で使用される日本語	日本で使用される外国語	タキシード
着物	kimono	タキシード
畳	tatami	ベッド
寿司	sushi	サンドイッチ
歌舞伎	kabuki	ミュージカル
柔道	judo	ジョギング

- ③ 本編教材との比較読解ができる文章を掲載した「探究の扉」コーナーを設けることで、本編教材の理解がより深められるようにした。

探究の扉 — 比べ読み —

大和物語

次の話は、「筒井筒」と同じエピソードを記した勢物語と異なる点を意識しながら読み比べて

沖つ白波

昔、大和の国葛城の郡に住む男女ありけり。この女、顔かたちいときよらなり。年ごろ思ひかはして住むに、この女、いとわろくなりければ、思ひわづらひて、限りなく思ひながら妻をまうけてけり。この今の妻は、富みたる女になむありける。ことに思はねど、行けばいみじういたはり、身の装束もいとよきよらにせさせけり。

かくにぎははしき所にならひて、来たれば、この女、いとわろげにてぬ

① 大和の国
② 顔かたち
③ いとわろくなり
④ 富みたる女
⑤ 来たれば

探究の扉 — 比べ読み —

今昔物語集

次の二話は、芥川龍之介が「羅生門」執筆の際、「羅生門」と異なる点ごとにあるかを意識して

羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の語

今は昔、摂津の国のわたりより、盗みせむがために京に上りける男の、日のいまだ明かりければ、羅城門の下に立ち隠れて立てりけるに、朱雀の方に人しげくありければ、人の静まるまでと思ひて、門の下に待ち立てりけるに、山城の方より人どものあまた来たる音のしければ、「それに見えじ」と思ひて、門の上層にやはらかがり登りたりけるに、見れば火ほのかにともしたり。

盗人、「あやし」と思ひて連子よりのぞきければ、若き女の死にて臥し

① 摂津の国
② 盗みせむ
③ 朱雀
④ 山城
⑤ 連子

- ④ 各教材の見出し付近に掲載した二次元コードを通じて、さまざまな角度から本編教材の理解を深めることができる「学習用コンテンツ」を多数用意した。

2. 対照表

*配当時数における丸付き数字は「A 書くこと」の時数を示す。

図書構成・内容		学習指導要領の内容						該当箇所 [頁]	配当時数
単元	教材	知識及び技能		思考力, 判断力, 表現力等					
				A 書くこと		B 読むこと			
		(1)	(2)	(1)	(2)	(1)	(2)		
説話	言語文化と古文		ア・エ・オ					30	1
	宇治拾遺物語		ウ			ア・イ・オ	イ	32	3
	【古文チェックポイント1】古文の基礎		ウ・エ					34	
	【古文チェックポイント2】動詞・形容詞・形容動詞		ウ・エ					40	
	【作品解説】宇治拾遺物語		イ・カ					42	
随筆(一)	【ズームアップ】古語と現代語		ウ・エ					43	
	徒然草		ウ			ア・イ・ウ・エ・オ	イ	44	3
	【探究の扉】徒然草		ウ			エ	イ	53	
	【作品解説】徒然草		イ					54	
	【ズームアップ】世の中を見つめる目		イ					55	
歌物語	【古文チェックポイント3】助動詞		ウ・エ					56	
	伊勢物語[芥川・東下り・筒井筒]	エ・オ	ウ			ア・イ・ウ・エ・オ	イ	58	3
	【探究の扉】大和物語		ウ			エ	ウ	67	
	伊勢物語[あづさ弓]	オ	ウ	イ				70	①
	【古文チェックポイント4】助詞		ウ・エ					72	
物語	【作品解説】伊勢物語		イ・カ					73	
	【ズームアップ】古典の享受史		イ					74	
	竹取物語		ウ			ア・イ・エ		76	2
	【作品解説】竹取物語		イ					81	
	【古文チェックポイント5】敬語		ウ・エ					82	
随筆(二)	枕草子[春は～・雪のいと～・中納言～]	エ・オ	ア・ウ			ア・イ・エ・オ	イ	84	2
	枕草子[ありがたきもの]		ウ	ア・イ	ア			86	②
	【探究の扉】白氏文集		ウ			エ	ウ	89	
	【作品解説】枕草子		イ					92	
	【ズームアップ】女房と宮廷生活		イ・カ					93	
和歌	万葉集	オ	ウ			ア・イ		94	2
	古今和歌集	オ	ウ			イ・ウ		97	
	新古今和歌集	オ	ウ	イ	ア			100	②
	【ズームアップ】和歌の世界		イ					103	
	【古文チェックポイント6】和歌の修辭	オ	ウ					104	
日記文学	土佐日記	エ	ウ			ア・イ・ウ・オ	イ	106	2
	【作品解説】土佐日記		イ					110	
	【ズームアップ】漢文日記と仮名日記文学		イ					111	
軍記物語	【ズームアップ】漢文由来の名付け		ア					144	
	平家物語	エ	ウ			ア・イ・ウ	イ	112	3
	【作品解説】平家物語		イ					120	
俳諧紀行	【ズームアップ】和漢混交文		オ					121	
	おくのほそ道		ウ			ア・イ・エ・オ	ウ	122	2
	【作品解説】おくのほそ道		イ					126	
【発展】注釈	【ズームアップ】旅と文学		イ					127	
	古典と注釈	オ	ウ			ア・イ・エ・オ	ウ	128	2
	【探究の扉】英語で読む百人一首		ア			エ	エ	131	
入門	【ズームアップ】つながる古典		ア・カ					132	
	言語文化と漢文		ア・エ					134	1
	入門一		ウ					136	2
	【漢文チェックポイント1】訓読の基礎		ウ					138	
	入門二		ウ					140	
故事	【漢文チェックポイント2】再読文字・助字・置き字		ウ					142	
	【ズームアップ】漢文由来の名付け		ア					144	
	漁夫之利		イ			イ・エ		146	3
	矛盾		イ			イ		148	
	狐借虎威		イ			イ・エ		150	
史伝	朝三暮四		イ			イ		152	
	【ズームアップ】故事成語の用例を探そう		ア					154	
	【漢文チェックポイント3】否定・疑問・反語・詠嘆の句法		ウ					156	
	管鮑之交		イ			ア・イ・エ		158	3
	先従隗始		イ			イ・エ		160	
漢詩	鶏口牛後		イ			ア・エ		162	
	【漢文チェックポイント4】使役・受身の句法		ウ					165	
	【ズームアップ】春秋・戦国時代		イ					166	
漢詩	中国の詩					ア・ウ・エ・オ		168	3
	【探究の扉】紅のうつろい		ア・イ・エ			エ		174	

	日本の詩	オ				ア・ウ・オ		178	
	【漢文チェックポイント5】漢詩の形式		ウ					180	
思想	論語		イ			イ・エ・オ		182	3
	孟子					イ・エ・オ		188	
	【探究の扉】漢文の注釈		イ			エ	ウ	190	
	【漢文チェックポイント6】仮定・比較・選択・限定・抑揚・願望の句法		ウ					192	
文章	雑説					ア・イ		194	3
	羈説					ア・イ		196	
	【ズームアップ】科挙		イ・カ					198	
	言語文化と近現代		エ・オ					202	
近代小説(一)	羅生門	イ・ウ・エ				ア・イ・ウ・エ	イ	204	4
	【作者解説】芥川龍之介		カ					218	
	【探究の扉】今昔物語集	ア				エ	ウ	220	
	【ズームアップ】芥川龍之介と古典		イ					224	
現代小説	サラバ!	イ・ウ・エ				ア・イ	イ	226	3
	【作者解説】西加奈子		カ					238	
	【ズームアップ】「ことば」は生き物!?		ア					239	
詩歌	サーカス	ウ・エ				イ・ウ	イ	240	2
	I was born	ウ・エ				ア・イ・オ	イ	242	
	【作者解説】中原中也・吉野弘		カ					245	
	短歌	ウ		ア・イ	ア			246	
	俳句	ウ		ア・イ	ア			250	
	【ズームアップ】詩歌の流れ		オ					254	
近代小説(二)	城の崎にて	イ・ウ・エ				ア・イ・ウ		256	3
	【作者解説】志賀直哉		カ					268	
	【ズームアップ】神様の文体	エ						270	
戦争小説	沖縄の手記から	イ・ウ・エ				ア・イ・エ・オ	ウ	272	3
	【作者解説】田宮虎彦		カ					288	
	【ズームアップ】戦争と向き合う文学		カ					290	
【発展】 近代小説(三)	山月記	イ・ウ・エ				ア・イ・エ	イ	292	4
	【作者解説】中島敦		カ					306	
	【探究の扉】人虎伝					エ	ウ	308	
	【ズームアップ】〈虎〉への変身は永遠の謎		イ					310	
配當時数合計		A 書くこと [丸付き数字は「書くこと」の配當時数を示す]						7	
		B 読むこと		古典				43	
				近代以降の文章				20	
		合計						70	